

特別活動 全体計画

生徒の実態

- ・明るく素直で、落ち着いた生活態度で学校生活を送っている。
- ・固定された人間関係の中で、新しい環境や、自分から相手に働きかけることを苦手とする生徒が多い。

地域の実態

- ・島しょ部であり、豊かな自然にあふれ、落ち着いた環境である。
- ・保護者には卒業生も多く、学校に協力的である。

保護者・地域の願い

- ・自主的に学習し、思いやりと規範意識のある生徒であってほしい。
- ・地域に愛着をもってほしい。

時代や社会の要請や課題

- ・主体的・対話的で深い学び
- ・ICT教育の推進

特別活動の目標

1. 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けようとする。
2. 集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできるようにする。
3. 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

- * 日本国憲法
- * 教育基本法、学校教育法
- * 学習指導要領、他教育関係諸法規
- * 都、八丈町教育委員会の教育目標

目指す生徒像
自分の力で

たくましく現代社会を生き抜く生徒

- ・獲得した知識を社会に役立てる能力を身に付け、主体的に実践する生徒
- ・人の気持ちがわかる思いやりのある生徒
- ・健康な生活を送るために、衣食住において毎日の規則正しい生活習慣を身に付けている生徒

学校の教育目標

1. 進んで学習する人
2. 礼儀を大切にする人
3. 心身共に健康な人

(教育の基本方針) 特別活動の時間の工夫・改善を図り、生徒の主体的活動を支援する。

各教科の指導との関連

- 各教科・科目の学習で獲得した知識・技能、能力や態度を特別活動に生かす。
- 特別活動において集団活動として行うディスカッションや自己表現・発表、共同の取り組みなどを、各教科・科目における「思考力、判断力、表現力」の育成に生かす。
- 集団活動を通して培われる望ましい人間関係を学習環境に取り入れる。

道徳との関連

- 特別活動における集団としての自主的、実践的な活動を通じて道徳的心情、道徳的判断力及び道徳的实践意欲・態度からなる道徳性を養う。
- 「道徳授業地区公開講座」を通じ、家庭や地域との連携を図りながら「心の教育」や「郷土愛」を育む。

総合的な学習の時間との関連

- 自ら課題を発見し、探求する力を育てる。
- 他者や社会との関わりを通して、「もの」や「こと」への認識を深め、多面的・総合的に考える力を育成する。
- 前向きに社会と関わっていこうとする能力の育成、また地域と共に生きる生徒を育てる。
- 学習を深めていく過程で、生徒が相互に情報を交換し、意見の共有や発表、まとめをする際の手段としてICTを活用する力を育てる。

人権教育との関連

- 望ましい人間関係を育成し、一人一人が充実した学校生活を送ることができるようにする。
- 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、一人一人の個性や能力を伸ばさせ、進路指導の充実を図る。
- 人権課題の歴史的・社会的背景について正しい認識を深め、その解決を目指す基本的な能力や態度の育成を図る。

指導の重点目標

- 1 学級活動・生徒会活動学校行事における指導の関連性を図りながら推進し、心身の調和のとれた発達を促すとともに、個性の伸張を図り、豊かな人間性を育成する。
- 2 生徒会活動を活性化させ、自らの役割や責任を果たす活動を通して、望ましい人間関係や公共心を育てる。
- 3 学年の枠を超えた活動を積極的に取り入れ、上級生への信頼感と下級生への思いやりの心を育てるとともに、楽しく充実した学校生活を送れる態度を育成する。

1 学級活動	2 生徒会活動	3 学校行事
<ul style="list-style-type: none"> ○学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを身に付ける。 ○学級や日々の生活、人間関係をよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成や意思決定ができるようにする。 ○将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢により構成される自治的組織における活動の意義を理解し、活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付ける。 ○学校生活をよくするための課題を見出し、解決のために話し合い、合意形成を図り、意思決定を行い、人間関係をよりよく形成できる。 ○多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校行事の意義を理解し、行事に必要なことを理解し規律ある行動の仕方や習慣を身に付ける。 ○集団や自己の生活上の課題を結びつけ、人間としての生き方について考えを深め、場面に応じた適切な判断をしたり、人間関係や集団をよりよくしたりできる。 ○集団や社会の形成者としての自覚をもって、多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活を作ろうとする態度を養う。
<p>【指導・活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学級や学校生活について 学級組織（班活動、係活動等） 学期ごとの反省、議案書討議、学級会 行事への取組 (2) 学業と進路 進路学習（キャリア教育）に関する取り組み、小学校との交流 	<p>【指導・活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒会の計画や運営 専門委員会、生徒総会、生徒会役員選挙 (2) ボランティア、地域とのかかわり 校庭整備、地域ボランティア (3) 各行事実行委員会 行事の運営 	<p>【指導・活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 儀式行事 入学式、卒業式、始業式、終業式、 離任式、修了式 (2) 文化的行事 音楽会、学習発表会、講演会 (3) 体育的行事 運動会、記録会、三年生を送る会

各学年の指導の重点

第1学年	第2学年	第3学年
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生としての自覚を芽生えさせながら、集団活動を通して学校生活に慣れ、協力して物事に取り組む喜びを味わい、積極的に活動できる意欲を育む。 ・自主的・実践的な態度を育成するとともに、望ましい個性の伸長を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅学年としての立場を自覚させながら、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする資質を育成する。 ・集団活動の意義を十分に理解して、諸問題の解決に向けて計画を立て、協働することに自主的実践的に取り組む力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級生としての使命感を高めながら、人間として望ましい生き方を模索させ、集団の中で自己を生かす能力と態度を育成する。 ・学級や学校、地域に貢献しながら、自己実現のための進路を切り開く力を育成する。

指導を支える手だて

- * 学級活動や生徒会活動においては、自発的、自治的な活動を重視し、生徒が自己決定できる場を設定して、自己有用感をもてるよう指導する。
- * 学校行事や体験的活動において、事前指導から事後指導までの過程で、生徒の変容を促す手立てを講じる。
- * ICT機器を活用し、学習を深めていく過程で生徒が相互に情報を交換したり、意見の共有や発表、まとめをしたりする活動の充実を図る。